

「第二次『夢ヲかたちに』」を語り 暮らしやすい地域をつくる

2021年度は前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、様々な工夫をしながら、組合員・ワーカーズ・職員がグリーンコープの運動や業務に取り組みました。コロナ禍において、社会が「新しい日常」へと移り変わる中、グリーンコープは地域に根差す生協として、子どもたちへの支援や災害支援など、自分たちが今できることを精一杯行いました。

また、「第二次『夢ヲかたちに』」の具体化に向けて、各生協が「夢ヲかたちに！理事会」を立ち上げ検討を始めました。各生協では、地域で暮らす組合員の願いを実現する「グリーンコープの地域」づくりに取り組んでいきます。

※2019年に、グリーンコープがこれからの「暮らしやすい地域」の指針となる「第二次『夢ヲかたちに』」が策定されました。人と人が連携することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりをさらに広げていこうと謳っています。



共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2022 1 月

■発行：一般社団法人グリーンコープ共同理事会
 ■編集：共生の時代・編集部
 ■〒812-8561
 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
 博多大博通ビルディング3階
 TEL092(481)7923
 FAX092(481)7876
<https://www.greencoop.or.jp/>

Contents

「第二次『夢ヲかたちに』」に向けて 2・3

第17回 グリーンコープ地域運動交流集会 4・5

パプアとの連帯 6

「第16回 GMOフリーゾーン
全国交流集会 in ひろしま」イベント 7
ゼンさんからのレター vol.9

イチオン！
めトリプル産直チキンドリア 8

別紙にて、「放射能汚染と向きあう(放射能測定室より)」を掲載



2022年度も夢の実現に向けて、 組合員、ワーカーズ、職員が一丸となって グリーンコープ運動を進めていきましょう



グリーンコープ共同体
代表理事
熊野 千恵美さん

2021年度、「第二次『夢ヲかたちに』」の方針が確認され、各生協では様々な形で夢を語り合い、検討が進められています。毎月の共同体理事会では、各生協の進捗状況が報告され、課題や悩みを共有しています。

各生協の「夢ヲかたちに」の検討は、コロナ禍でもオンラインならでもつながりを最大限に活かした「日常の出会い」が原動力となっています。その中では、子どもから高齢者まで様々な人となりがつながるような居場所を地域につくりたいという声が多く出されています。出された夢を活動組合員やワーカーズで共有し、具体的なかたちを検討して発信していくこと

で、組合員の仲間づくりや担い手の広がりにもつながると考えます。検討の過程では様々な壁にぶつかることもありますが、そのような時には一度立ち止まることも必要かもしれません。今、私たちの近くには、相談に乗ってくれるワーカーズや職員もいます。地域の夢や願いについて同じ目線で相談して一緒に取り組んでいくことができ、力強い仲間です。

2021年は、食や環境など社会全体の課題をより身近に引き寄せて、関係する団体との連携を深めながらグリーンコープの運動や取り組みを進めることができました。2022年度も様々な課題に力強く取り組んでいこうと考えています。中でも遺伝子組み換え、ゲノム編集の動きは大変心配な状況です。ゲノム編集食品である高GABA

トマト、マダイなどが認可されて私たちの食卓に迫っており、待たなしの危機的な状況です。消費者である私たち一人ひとりが声を上げ、世論に訴えかけていかなければなりません。環境問題では、異常気象による農作物の被害も深刻でした。2021年3月に発表した気候危機に関する宣言を基に、さらに強化する取り組みを始めています。未来ある子どもたちに「みどりの地球をみどりのまま手渡したい」という言葉に改めて思いを馳せています。これからは私たちが、「日常の出会い」を通してつながった一人ひとりと「夢ヲかたちに」の実現に向けて会話を重ねていきます。そのような人と人のつながりを大切にしながら、一歩ずつ歩みを進めていき、グリーンコープ運動を広げていきます。

「あったらいいな」をかたちにして 誰もが安心して暮らせる 地域をつくっていきこう

「第二次『夢をかたちに』」の実現に向けて各生協が検討を進める様子について、2021年11月1日に開催された「第17回 グリーンコープ地域運動交流集会」で報告がありました。各生協で組合員、ワーカーズ、職員が夢の具体化に向けて共に知恵を出し合い検討している様子や、新しい年の抱負などについて、各生協理事長と副理事長、地域理事長に話を聞きました。

グリーンコープの仲間と出会い、取り組みを知って伝えていきます

理事長 武田直美さん

昨年グリーンコープ生協ふくしまを設立し、安心・安全なグリーンコープの食への日常的利用できるようにしました。グリーンコープの仲間になったことで、食へのことなど、今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。

今年グリーンコープの仲間と出会い、グリーンコープの取り組みについて少しずつ知っていききたいと考えています。

就労支援も兼ねたみんなの居場所づくりを進めていきます

中部地域理事長 木室裕子さん

ふくおか中部地域では、「夢をかたちに」に向けて、自分たちが住んでいる地域をどのような地域にしたいか、地域の中でどのような自分でありたいかを考えながら意見を出し合いました。その中で出された、「子どもも大人も障がいのある方もすべての人が安心して過ごすことができ、長期休暇中の学童保育や就労支援も兼ねた居場所」を地域の夢として進めることに決めました。私も担い手の一人として手を挙げ、現在1年後の運営開始をめざして、場所や一緒に運営していく仲間を探しています。

誰もが安心して訪れることができる居場所づくりを取り組めます

南地域理事長 砥上叔子さん

久留米支部久留米なご地域で数年前から検討してきた夢を、ふくおか南地域の夢として確認し、子どもを中心にしながら安心して訪れることができる居場所づくり」に取り組んでいます。「ちかっば（力いっぱい）げんきプロジェクト」を立ち上げ、場所の選定や行政への相談など、具体的な検討を進めています。

検討を進める中で、自分たちの地域のことをみんなの地域として意識できるようにしてきました。地域委員が子育てサポートワーカーズに加入し担い手となって運営していくことも決まり、まずは公民館など、公共施設を利用して開始していきたいと考えています。地域の方やワーカーズの皆さんをはじめ、いろいろな方の知恵や力を借りて夢の実現に向けて前に進んでいます。

「ゆめ ユメサークル」が想いを込めて始動!

グリーンコープしがまる生協

理事長 木村和子さん

昨年、「夢やりたいこと」のチラシを配布し、「夢をかたちにおしゃべり会」を9月に開催しました。これからやりたい様々な活動や夢が出された。この名前も「ゆめ ユメサークル」としました。夢をかたちに」が漢字とカタカナ、ひらがなを交えた個性豊かに表現されていることを参考に命名しました。

地域にもっと出て取り組みをを広げ、夢を実現していきます

グリーンコープ生協おおさか

理事長 篠原佳奈子さん

昨年5月から「福祉を深めるおしゃべり会」を開催し、6月に「夢をかたちに」理事会」を立ち上げました。夢についてグループに分かれ検討を行いました。まずは地域で活動されている団体などの取り組みを知ろうと、視察を行いました。地域に根差した活動が自分たちなりにできていると実感していましたが、他団体の活動を知ったことで、もっと地域に出て行かなければと感じました。

福祉活動組合員基金を土台に、誰もがほっとできる居場所をつくっていきます

グリーンコープ生協ひょうご

理事長 清水園子さん

ひょうごとして初めて福祉に取り組むということ、まず全組合員を対象に「福祉アンケート」を実施しました。「自分の力を活かせることがあれば関わりたい」という意見があった時はうれしかったです。

「夢の実現へ」一緒に考える仲間と共に進めます

グリーンコープ生協ふくおか

北九州地域理事長 坂本寛子さん

5つの支部で夢を出し合い、居場所づくりやキープ&ショップ、ふくセンターおひさきの交流室の活用、環境活動を意識した環境カンパの取り組みなど、地域の中で出された貴重な声がテーマに上げられました。居場所については「高齢者が集まる場所がほしい」「真事もあっては、年齢など、様々な角度から意見交換が進められています。人と人が出会い、交流することで、利用者が元気になるだけでなく、地域が豊かになると考えました。

「あったらいいな」という思いを大切にしたい

グリーンコープ生協ふくおか

福岡地域理事長 若松由香さん

福岡地域にはお店やキープ&ショップ、社会福祉法人関連の施設など、夢をかたちにしてきた様々なものがあります。「夢をかたちに」理事会」の検討を開始にあたり、今ある施設を維持しながらどう活用できるかというところを考えた。これまでもお店でカフェを開いたり、空いた厨房を活用して何かやりたいという人が出てきたときに、一緒に考え応援し、実現してきました。

4つのテーマを掲げて必要なものは何かを話し合っています

グリーンコープ生協さか

理事長 柳川晶子さん

「夢をかたちに」理事会」は、組合員と、共同購入や子育て・福祉・生活再生のワーカーズ、職員など、様々な部署からのメンバーで構成し、検討を進めています。まずは夢を出し合って共有するところから始め、様々な夢を①子育て②福祉施設③お店、食への④居場所の4つのグループに分けることにしました。グループごとに、「さか」に「一番必要なのは何か」について話し合っています。

福祉委員会や福祉活動組合員基金の設立に向けて取り組んでいます

グリーンコープ生協とっとり

理事長 林美恵さん

「夢をかたちに」理事会」の検討では、最初にとっとりにはいじめや、あったらいいものに意見を出し合いました。理事メンバーからは、キープ&ショップを増やしたい、キッチンカーがほしいなどの夢が出されました。検討を進めるためにグリーンコープの地域福祉の取り組みについてもっと知ろうと、社会福祉法人グリーンコープのDVD視聴や、内部学習会も開催しています。

丁寧な意見交換し、やれるところから実現をめざしたい

グリーンコープ生協(島根)

理事長 吉田由佳さん

昨年、社会福祉法人グリーンコープの理事長から、グリーンコープの福祉の歩みや取り組みについてお話を聞きました。人と人が支え合っていないで来た地域づくりの様子を聞いて、「島根」でも夢を広げたい」と思う起爆剤となりました。また、夢を語っていく中で、資金の必要性も分かっています。今年度から再開している「暮らしの委員会」で、福祉活動組合員基金の立ち上げについて検討を始めています。

自分の力を活かして夢をかたちにできるのがグリーンコープ

グリーンコープ生協おかやま

理事長 飯村美智子さん

「自分たちの住む地域で叶えたいこと、あったらいいもの、したいことなど、『夢』や『願い』を聞かせてください。昨年3月、『夢をかたちに』全組合員アンケート」に取り組みしました。寄せられた回答を基に、地区委員会を何と大切にしていきたくか、という話をしているところです。

坂の街「長崎」ならではの「夢をかたちに」

グリーンコープ生協(長崎)

理事長 島田美砂子さん

「こんなものがあつたらいい」「こういうことをしてみたい」という思いを、アンケートで活動組合員などに聞きました。それを基に「夢をかたちに」理事会」で理事メンバーに夢を語ってもらいました。坂の街長崎は音が不便なため、移動販売車がほしいという声が多く上がっていました。道幅の狭いところはバイクが考えられないかなど、地域が発展できるように皆でアイデアを出し合っているところです。

夢は自分たちの手で実現できるもの

グリーンコープ生協くまもと

理事長 高濱千夏さん

昨年4月に、最初の「夢をかたちに」をつくった先輩組合員から当時の話を聞く学習会を行いました。「あったらいいな」だけでなく、言い続けて自分たちの手で実現してきたことを皆で学んだことで、「夢を語るって素晴らしい。早く語れるようにしよう」と気持ちを一つにしました。

「夢が現実」にワクワクしながら進めています

グリーンコープ生協おおい

理事長 薬師寺ひろみさん

総代、活動組合員、ワーカーズ、職員から届けられた夢について、「夢をかたちに」理事会」ではそれぞれの組織で叶えられる夢はそれぞれで検討することにしました。「学校給食を安心・安全なもの」については、検討員がひき受け、それぞれの地区運営委員会で検討を始めています。また、誰もが集える居場所「買い物困難地域へ移動販売車を走らせたい」「配食サービス」の拡充、「デイサービスがほしい」についても実現化に向けて動き出しています。

グリーンコープがあつて良かったと思える地域にグリーンコープ生協ひろしま

副理事長 貫里恵さん

2021年度、「第二次『夢をかたちに』」起草委員会を立ち上げ、4支部それぞれの地域から出された30以上の夢を、食への、くらし、いのちの3つのチームに分かれてマスタープランを作成し検討を進めました。その中で、すぐにでも取りかかりたい夢の一つが「子どもの居場所」です。福祉と食への観点から、地域に根ざした取り組みとして子ども食堂やフードサポートの必要性を感じ、地域の支援団体との関わりを進めています。

地域ごとに必要なものを検討していき

理事長 佐々木春代さん

「夢をかたちに」理事会」と、地域ごとに「地域拠点協議会」を立ち上げ、組合員、地域で活動しているワーカーズ、職員が出会い、自由に意見を出し合うことから始めました。それぞれが検討を深める中、同じ県内でも各地域それぞれの特徴があり、必要なのも違うのが見えてきました。

夢を現実にするために仲間づくりに取り組めます

理事長 日高容子さん

「夢をかたちに」理事会」の中で、保育園配食サービス、キッチンカー、子どもの居場所など、あったらいいなという夢がたくさん出てきました。その夢を実現するには人が必要です。そのために今年みやざきでは、組合員1万人をめざして積極的に仲間づくりに進め、委員や理事を増やしていくことを大きな課題として取り組み、組織体制を強化して前進していきたくしています。

実現への過程を楽しみながら進めていきます

理事長 亀崎恵理子さん

「夢をかたちに」理事会」と並行して「夢をかたちに」支部委員会」を開催し、地域で出された夢を「支部で実現できそうなもの」、「理事会で検討していくもの」と整理しながら進めています。

国際連帯



インドネシア
コロナ禍でも
エヒの出荷と生産を継続

ATINAの工場でも、出勤を減らしたり、リモート勤務をしながら生産を続けました。

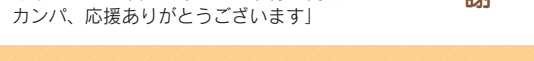
ATINAのスタッフが、「悪戦苦闘が続いていますが、健康を保ち、コロナと闘いましょう！」



フィリピン
コロナ禍にあっても
グリーンコープとの不滅の連帯に感謝

オルタナティブ・フリー社(ATP)コロナ禍に立ち向かい、並々ならぬ努力を続けています。

グリーンコープが民衆交易バナナの予約キャンペーンに取り組みでくださり、ネグロスとミンダナオの生産者との連帯と友情を築き続けていることに、感謝しています。



インドネシア
グリーンコープと連帯する
海外の仲間から
メッセージが届きました

バナナを利用して
自然と環境、
人々の暮らしを守ろう！

グリーンコープ生協ふくおか理事長の三原幸子さんが、組合員作成のポスターやチラシでネグロスバナナの予約を呼びかけ、予約人数・重量共に約倍量に増えたことを報告しました。

フィリピンのミンダナオ島からは、「予約、利用が増えもってバナナを生産できると勇気が出ました」とメッセージが届けられました。



2019年10月の地震被害でマキララ町のバナナの出荷団体ドン・ボスコ財団の建物が崩壊。2013年の地震と台風被害への支援カンパを基にした緊急災害準備金の中から約330万円の支援をしたことに対し、感謝の匾が届けられています。

韓国
困窮者の支援や気候変動対策、
海外との連帯に取り組んでいます

ハンサラム生協連合会・ドレ生協連合会ハンサラムでは、コロナ禍で生活が困窮した方たちに食糧支援を行っています。

フードロスをゼロや気候変動学習会、びんの再利用や牛乳パック回収にも取り組んでいます。また、ミヤンマーの民主主義を求める人々を支援しています。

インドには太陽光発電所を設置しました。



バキスタン
教師やスタッフなど学校が丸となり
スラムに暮らす大勢の人々を支援

アル・カイルアカデミー

コロナ禍で休校の間も、教師たちの研修や少人数での授業を行いました。家庭内暴力が起らないよう、教師が家庭訪問してカウンセリングも行っていきます。

診療や手術も無料で受けられるアル・カイル医療センターを開所しました。失業した人々のために食料を配布し、大雨で被災した人々の家の再建も支援しています。



校長のムザヒルさんと子どもたち

グリーンコープと連帯する海外の仲間からメッセージが届きました

バナナを利用して自然と環境、人々の暮らしを守ろう！

グリーンコープ生協ふくおか理事長の三原幸子さんが、組合員作成のポスターやチラシでネグロスバナナの予約を呼びかけ、予約人数・重量共に約倍量に増えたことを報告しました。

フィリピンのミンダナオ島からは、「予約、利用が増えもってバナナを生産できると勇気が出ました」とメッセージが届けられました。



2019年10月の地震被害でマキララ町のバナナの出荷団体ドン・ボスコ財団の建物が崩壊。2013年の地震と台風被害への支援カンパを基にした緊急災害準備金の中から約330万円の支援をしたことに対し、感謝の匾が届けられています。

「つながり」を大切に 新しい時代を創る

組合員の願いを実現するグリーンコープの地域創りに向けて

第17回 グリーンコープ地域運動交流集会

グリーンコープ運動を担う各生協の組合員やワーカーズ、職員と、連帯する海外の仲間が参加して毎年開催している「地域運動交流集会」が、2021年11月1日、オンライン形式で行われました。

「第二次「夢」かたち」の進捗状況やワーカーズの活動などが報告され、海外から届いた動画も紹介されるなど、グリーンコープの「今」が伝わる集会となり、940人が参加しました。

主催：グリーンコープ共同体



グリーンコープ運動・災害支援



気候危機に関する宣言
「みどりの地球をみどりのまま子どもたちへ」

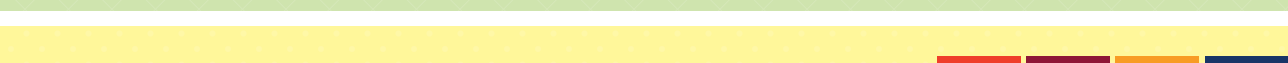
2021年3月にグリーンコープが発表した「気候危機に関する宣言」について、共同体代表理事の熊野千恵美さんが報告しました。

気候危機に関し、世界的に様々な動きがある中、組合員からの声をきっかけに、グリーンコープ全体で検討しようと、私たちの暮らしの視点から考える時間を持ちました。

地球温暖化がすすみ、100年に一度と言われるような自然災害が毎年のように各地で起こり、私たちに「安心・安全な産直青果を届けてくださっている生産者の皆さんの圃場にも、甚大な被害をもたらしました。直接生産現場のご苦労をお聞きすると、ここ10年のすさまじいほどの気候変動は、農業のプロである生産者の皆さんにとって脅威であり、大変な苦勞をされていること痛感しました。私たちに、本当に身近な問題なのだと思ふべきです。グリーンコープはこれまで、「いのち・自然・くらし」を守るグリーンコープ運動を継続してまいりました。あらためて、グリーンコープ運動に自信を持ち、共感の輪を広げていくこと、「私たちにできること」を一人ひとりが持つ人を広げていくために、私たちにできること、傍聴に行くということがあります。傍聴に参加して自分を感じたこと、思ったことを伝えることで、傍聴に行ってみよう、オンラインで報告会に参加しようという気持ちを持っています。

大変な思いをしながら育ててきた状況を知り、欠けた理由を知ることにもつながっています。異常気象が続く中でも生産を続けてくださる青果生産者に寄り添ってあげたいと考えます。

グリーンコープはこれまで、「いのち・自然・くらし」を守るグリーンコープ運動を継続してまいりました。あらためて、グリーンコープ運動に自信を持ち、共感の輪を広げていくこと、「私たちにできること」を一人ひとりが持つ人を広げていくために、私たちにできること、傍聴に行くという気持ちを持っています。



ワーカーズ型生協への転換

「ありがたい私」そして「あるべき私」を確立していきます

ワーカーズは「こうしたい」という「ありがたい私」と、業務の責任を負う「あるべき私」の両方の面を併せ持っています。

それら「ありがたい私」と「あるべき私」として登場する「共同体ワーカーズ常務理事会」の準備会発足についても報告しました。

なたね油の利用普及では、連合会事業部会がカトリックの表紙で案内するなどの取り組みが、アンケータ用紙やなたね油の特長を紹介するチラシを作成しました。共同購入部会は配達時に、店舗部会とキープ&ショップ部会は店頭で、組合員事務局部会や組合員が協力して店頭やトラックに同乗するなど、それぞれの業務のなかでアンケータへの協力となたね油の利用を組合員に呼びかけました。その結果、7万枚近くのアンケートの回収と過去最高の2万3千点以上のなたね油の注文という成果を取れました。

「共同体ワーカーズ常務理事会」の設立に向けては、職員常務理事会と並ぶ業務機関会議としてグリーンコープの経営について責任を持つ考えられる主体になれるよう、「あるべき私」の確立をめざしていきます。

「共同体ワーカーズ常務理事会」の設立に向けては、職員常務理事会と並ぶ業務機関会議としてグリーンコープの経営について責任を持つ考えられる主体になれるよう、「あるべき私」の確立をめざしていきます。

職員が第三の主体となり

「誰もが安心して暮らせるみどりのある地域をめざして」

ひょうごからかごしままでの28のワーカーズに2200人余りのワーカーが所属し、地域に根差した、グリーンコープの福祉事業に携わっています。

代表して6つのワーカーズがそれぞれの活動の様子を報告しました。

在宅部会からは、長崎の「たすけあいワーカーズあじさい」が、「あじさい満開プロジェクト」と題し、調理や掃除、接遇、身体介護について、先輩ワーカーから教えてもらったことや、自身が日頃工夫していることを動画と文章にして研修に活かしていることを報告。広島ワーカーズ「はつと」は「あーと」からは、地域の方々の居場所となつて「夢サロ」について報告しました。

子育て部会からは、福岡の「りすの樹」、佐賀の「Watage」、熊本の「へべべらん」から、子育てサポートワーカーズとして小さな子どもを持つお母さんたちに寄り添う様子を報告しました。

配食部会からは、福岡の「水いそ」が、配食ワーカーズの立ち上げから今日までの経過や経験を振り返りました。配食サービスを開始したいと検討している組合員に向けて、安心して暮らしていける地域を共につくっていくこととエールを送りました。



社会福祉法人グリーンコープ

組合員とワーカーズがつながること

社会福祉法人グリーンコープ(以下、社福理事)の三原幸子さんは、組合員が社福の理事長を担うことで起きている変化について話しました。

組合員の視点から疑問に思うことを率直に伝えることで、社福理事会が組合員にもワーカーズにもより望ましい形に変わってきたこと、福祉の取り組みがはじめていなくなった生協の理事長も社福理事会に参加するようになったこと、グリーンコープ全体で福祉に関する検討がスピードアップしていることなどが、地域福祉について組合員とワーカーズが一緒に話していることを報告しました。

専務理事の歌野秀子さんは、在宅生活支援事業を例に挙げ、利用者やサポートとボランティアが協力して、選ばれた保育園になるよう応援しています。

大分アイサービスセンターの利用者を増やすために、組合員が地域に向けて「ふくし新聞」を発行。また、保育園の給食の食材の良さを伝える掲示物とチラシを組合員が作成して、選ばれた保育園になるよう応援しています。

4つの県から組合員が登場して報告しました。

広島 在宅福祉ワーカーズの「仲間がほしい」という夢を実現するために、組合員がワーカーズ募集チラシを作成しました。SNSや行事などの場でもワーカーズをアピールしています。

鹿児島 組合員活動と併行して福祉ワーカーとして働き始めたグリーンコープがこころ生協副理事長の別所恵子さんが活動と仕事の両立の良さを実感し、充実した毎日を送っていることを話しました。

福岡 県経営委員会から理事会に変ったことで、組合員とワーカーズで地域福祉を考える場となっています。多津津経営委員会では、地域を拠点とするワーカーズと組合員が参加し、連携しながら地域について検討しています。



子どもたちの未来のために

脱原発を実現するために
——グリーンコープでんきを選ぼう——

35年前のチェルノブイリ原発事故以来、私たちは「いのちと原発は共存できない」と、一貫して脱原発社会の実現をめざしてきました。そして、東京電力福島第一原発事故を機に、「自分たちで使う電気は自然エネルギーでつくり出していこう」と、市民発電所づくりを始め、現在22カ所(2022年1月現在)に発電所をつくることができています。

私たちは、食べもの運動を通して、生産者やメーカーとの顔の見える関係から食べものの安心・安全を実現してきたように、市民発電所づくりも、再生可能エネルギー実現への想いを同じくする地域と繋がって、関係性を大切にしながら進めています。そして誕生した「グリーンコープでんき」は、日本で初めての「原発フリー」の電気を届けています。さらに二酸化炭素を排出する石炭火力などの発電所の電気も使っていません。

原発に頼らず環境を汚さないきれいな電気「グリーンコープでんき」にシフトして、みどりの地球をみどりのまま未来の子どもたちに手渡す一歩を踏み出しませんか。

グリーンコープ共同体組織委員会

一般社団法人グリーンコープでんきから

ひろがれ! 私たちの発電所

グリーンコープ・グリーン電力出資金
2021年 11,275人 1,104,197,000円 (11月25日現在)

「原発の電気ではなく、自然エネルギーでつくった電気を使いたい」という願いをかかせるために、グリーンコープ・グリーン電力出資金に協力しましょう

2021年10月の売電量	グリーン未来ソーラー売電量 40,327kWh 定価出力7536kW(110世帯相当)
神在太陽光発電所売電量 93,130kWh 定価出力1,057kW(309世帯相当)	若宮物流センター太陽光発電所売電量 4,581kWh 定価出力247kW(14世帯相当)
平地水上太陽光発電所売電量 125,247kWh 定価出力1,209kW(368世帯相当)	広島物流センター太陽光発電所売電量 4,741kWh 定価出力247kW(14世帯相当)
深年太陽光発電所売電量 148,233kWh 定価出力1,550kW(453世帯相当)	グリーンコープやまぐち生協 西部地域本部太陽光発電所売電量 4,759kWh 定価出力247kW(14世帯相当)



オープン以来、カフェはたくさんの人々で賑わっていて、リピーターのお客さんが増えています。今後は、客席を増やし、カフェをより快適な場所にしたいと考えています。

パプアの風を感じる開放的なカフェのようす



パプアの人々の夢 ヲかたちにした チョコレート工房の完成と カフェの発展を応援しましょう

グリーンコープは、インドネシア・パプア州の人々の自立を、カカオの民衆取引を通して支援しています。

2018年から、パプアの人々がチョコレート工房とカフェを建設するためのカンパを、5年計画で組合員に呼びかけてきました。組合員から寄せられたカンパがどのように活用されているかについて、また、パプアの現在の様子を報告します。

カカオの生育状況

今年はインドネシア全土でカカオの生育が悪く、パプアの収穫量は昨年の半分ほどです。

パプアのカカオ産地は熱帯雨林にあり、年間を通じて十分な雨に恵まれていたのですが、今年は降雨量が少なく、気候変動の影響ではと懸念されます。

カカオの木の寿命は20~30年とされていますが、パプアの土壌が豊かなため、50年以上生き続けています。

しかし、結実率は下がっています。さらに降雨量が減少すれば、老木はたちまち枯れてしまうのではと心配されます。カカオ・キタは、苗木作りに取り組む生産者を応援しています。



枯れてしまったカカオの実

▲カカオ・キタは、カカオの苗木を育てるピニールポッドを生産者に配布。生産者は自分の畑から元気なカカオの木を選び、その種を植えて苗木作りをしています。



グリーンコープしがまる生協
理事長
木村 和子

コロナと共に、の生活が丸2年たとうとしています。

マスク着用・手洗い励行・部屋の換気。外食も旅行も制限されればなし。日本人の多くは「ストレスたまってます!!」の生活にそろそろ耐えられなくなっているのでしょうか?その中で、体と心を緩めることで、イライラも少なくなるであろうと思います。

2019年の冬から、週1・2回女性ばかりの体操教室!それも30分だけに通っています。実は、週1回だけでも通うと私は体スッキリになるのですよ。日頃使わない筋肉を使うのでしょうか。

もう一つ、これが難しいのですが「何もしないポーっとする時間を持つ」ことが大切と、どこかの本に書いてありました。

やはり人間は、いつも新鮮な気持ちを保つためには未知なるものとの出会いが必要不可欠ですが、反対に、脳を休ませることも大切なのでしょうね。

こういう時こそ、以前の当たり前だった生活に「ありがとうございます」の感謝をささげたいと思います。

カカオの民衆取引は、「児童労働のない、農薬を使わずに栽培されている安心なカカオからできたチョコレートを食べたい」と願う組合員と、カカオを生産して交易することを目指すパプアの先住民が出会ったことと始まりました。

多くの先住民は、豊かな自然と共存しながら暮らしていました。森の中で育ったカカオを採取して、インドネシアの商人に売っていましたが、

パプアの人々と組合員の出会いで生まれたチョコレート

安価なため人々の収入は安定していませんでした。「パプア農村コミュニティ発展財団」代表のデ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

キー・ルマロベンさんは、カカオでパプア人による、パプア人のための経済活動を行いたいと考えていました。その思いに共感して始まったのがカカオの民衆取引です。デ

カフェの店内の様子



▲おいしいチョコレートのお菓子や飲み物を楽しむことができ、人々の憩いの場になっています。

組合員から寄せられたカンパ金で、2018年に、パプアの人々の夢の一つであるカフェの建設が始まりました。まずはチョコレート菓子やアイスクリームを作るためのコンテナを設置。カフェは、カカオ・キタのメンバー総出で基礎工事を行い、内装は現地のインテ

リアデザイナーに委託。2020年によりやく完成しましたが、コロナ禍によりオープンは延期になりました。さらにカカオ・キタでのクラスタイ

リアデザイナーに委託。2020年によりやく完成しましたが、コロナ禍によりオープンは延期になりました。さらにカカオ・キタでのクラスタイ



カフェ従業員の声

カフェはパプア以外の人々にも知られてきています。私たちは、ますます頑張っていきたい。前進あるのみ!



カフェとチョコレート工房を作りたいという夢のために力を与えてくださり、ありがとうございます。



カカオキタ代表 テルー・マルベンさん

今年もカンパにご協力ください!

チョコレート工房&カフェ建設カンパ

カタログGREEN46号で(2022年1月24日週配布)「チョコレート工房&カフェ建設カンパ」の案内チラシをお届けします。

これまでのカンパ金の使途と金額

4年間で870万円を超えるカンパ金が寄せられました。

- 第1回(2018年) 2,193,700円
- 第2回(2019年) 2,514,700円
- 第3回(2020年) 2,071,000円
- 第4回(2021年) 1,978,200円

カンパ金は以下のように使わせていただきました。

- 飲食エリア 建築資材・内装・人件費
- 厨房・トイレ・事務室の設置
- コンテナ 輸送・設置・改造費
- チョコレート工房&カフェ 機材・器具代
- 電力・水道設置関連費 他

計 8,123,388円(2021年12月現在)

投稿募集中

●うちの家族の好きなグリーンコープ商品

●250字程度

●毎月月末

●住所氏名年齢TEL所属生協名を明記して郵送またはFAX、Eメールでお送りください。

●掲載分にはグリーン券(グリーンコープ商品の購入に利用できます)500円分を進呈。

●住所氏名などの組合員の個人情報には、本紙に掲載の場合のみ使用します。

〒812-8561
福岡市博多区博多駅前
博多大博通ビルディング3F
グリーンコープコミュニケーション
ワーカーズ連(REN)
「共生の時代」編集部宛
FAX 092-481-7876
Eメールアドレス
koho@greencoop.or.jp



遺伝子組み換え作物(GMO)・ゲノム編集技術 レポート

「第16回 GMOフリーゾーン全国交流集会 in ひろしま」イベント

私たちの食卓にせまるゲノム編集食品!

グリーンコープは「遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン」と共に、日本の農業や生物多様性を守るため、遺伝子組み換え作物を栽培しない地域を全国に広げる「GMOフリーゾーン運動」に取り組んでいます。2022年3月に開催予定の「第16回 GMOフリーゾーン全国交流集会 in ひろしま」のイベントが2021年10月27日にオンラインで開催され、約300人が参加しました。このイベントで行われた「遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン」代表の天笠啓祐さんの講演要旨を報告します。

ゲノム編集食品の新たな状況

2020年12月、ゲノム編集食品である高GABAトマトの届け出が厚生労働省に受理されました。高GABAトマトとは、心臓や循環器に良いとされるアミノ酸を多く含むようにゲノム編集されたトマトです。2021年5月中旬には苗を無償配布、9月より高GABAトマトそのものを販売、10月には苗の販売も始まり、食品としての安全性が確認されないまま市場に出回ることになりました。さらに、トマトの花粉は、風速5メートルで1000km以上も飛散すると言われており、知らない間に一般のトマトと交雑してしまう可能性や、周囲のトマト農家への影響が懸念されます。

2021年9月には高GABAトマトに続いて、ゲノム編集のマダイの届け出が厚生労働省に受理されて、流通・販売が可能になりました。ゲノム編集のマダイは筋肉量が通常の1.2倍、養殖期間は半分です。ゲノム編集された魚には、環境に与える影響も、食品の安全性への影響についても、植物とはまた違った問

題点があります。養殖場などから逃げ出した際の環境への影響や、自然災害時の対策がされているか懸念されます。魚は植物と違って移動するので、取り返しがつかないことになります。

なぜゲノム編集を規制しないのか

ゲノム編集は、特定の遺伝子を壊す技術です。しかし生命体は微妙なバランス、調和で保たれており、壊してよい遺伝子などありません。さらに、目的でない遺伝子を壊してしまうオフターゲットという現象をもたらすなど、ゲノム編集技術の問題点は山積みです。しかし、政府は遺伝子を壊すだけのゲノム編集に対しては規制をしていません。

ゲノム編集を規制しない理由の一つとして、「遺伝子組み換え作物の失敗」が考えられます。遺伝子組み換え作物は、栽培が始まってから四半世紀経ちますが、作物の種類も増えず栽培地もそれほど広がっていません。遺伝子組み換え作物を開発した多国籍企業モンサント社は、遺伝子組み換え作物の失敗の原因が表示と規制だったと考えており、ゲノム編集作物を失敗させないために、規制も表示もさせないという姿勢を取っています。

世界的な動きとして、多くの政府や多国籍企業は、ゲノム編集技術を積極的に推進する姿勢です。日本では、生物多様性への影響については環境省が、食品の安全性評価については厚生労働省が管轄しており、特定のDNAを切断するだけのゲノム編集に関しては、環境省も厚生労働省も規制しないという姿勢を示しています。内閣府の食品表示部会と消費者庁も共に、

食品表示の必要はないという見解です。このままでは、環境影響評価も、食品の安全性審査も、食品表示もないまま、通常の食品と変わらず私たちの食卓に登場することになります。

私たちに何ができるのか?

- 食の安全を守り、生物多様性を守り、未来の世代を守るため、次々に開発されるバイオテクノロジーに歯止めをかけ、種苗表示を求めましょう。
- 政府に規制を、自治体に独自の条例を求めましょう。
- 有機のまちづくり条例をつくるよう、行動を起こしましょう。

グリーンコープ共同体代表理事の熊野千恵美さんは、イベントの最後に、「食の現状は、遺伝子組み換え食品やゲノム編集食品によってとても危険な状況になっています。だからこそ、私たちにできることを考えていかなければなりません。これからも遺伝子組み換え食品は食べたくない、ゲノム編集食品はいらない、と声を上げ、『GMOフリーゾーン』を広げていく活動を、未来につないでいきましょう」と締めくくりました。

●お知らせ●
**「第16回 GMOフリーゾーン
 全国交流集会 in ひろしま」**
 2022年3月4日(金)オンラインで開催します

海外の仲間から
グリーンコープの友人のみなさんへ vol.9
 Letter for Green Co-op October 28, 2021

愛と思いやりのあるコミュニティこそがこの世界をもっと良くします

ナラヤカエデの木が赤みを帯び、秋の風が吹き始めると、ようやく休息の季節がやってきたかと、少しほっとしている毎日です。アメリカでは、長く続いたコロナ禍で様々な規制が敷かれ、人とのつながりがなくなってしまうことに多くの人はいらなっています。恐怖が人々を内向きにし、その恐怖心が人を互いに対立させています。もしあなたも疲れてしまったなら、どうか休んでください。でも、あなたがいるコミュニティ(地域社会、共同体)こそが再生への答えである、ということだけは知っていて下さい。

多くの人がコミュニティという言葉を考えるとき、それは他の人々、つまり自分ではない人を思い浮かべます。でも、コミュニティとは私たち全員を意味しているのです。グリーンコープの皆さんはコミュニティです。皆さんは、近所や学校、仕事場など、他のコミュニティにも属しています。ミュージシャンやアーティスト、親、スポーツ選手など、様々なコミュニティがあり、あなたもそのコミュニティを構成しているのです。ですからぜひ自分のコミュニティに顔を出してください。笑顔で、皆に親切にする。そうすることで、他の人たちの世界も変わるようになるのです。

私はこれまで3度、グリーンコープの招待で日本各地を訪問し、かけがえのない経験をしました。それは、愛と思いやりのあるコミュニティこそがこの世界をもっと良くする、ということを学んだからです。自分

ゼン ハニーカット
Zen Honeycutt さん
 Moms Across America 創設者・専務理事

米国で遺伝子組み換え反対運動の中心となって活動するマムズ・アクロス・アメリカ(Moms Across America)の共同創設者、専務理事。

も緊急の課題になっています。私たちマムズ・アクロス・アメリカのコミュニティは、一丸となって困窮するメンバーを支援しています。そこから、また新たなつながり、思いやり、感謝の気持ちが芽生えています。

このような時代だからこそ、私たちは思いやりと創造力、そして勇気を持って行動しなければなりません。お互いに支え合うことを約束しなければなりません。この困難な時代に、もしあなたが疲れてしまったなら、休息をとって、その後に、食料供給の安全とコミュニティのために懸命に働いている人々を支援する方法を探してください。自分に何ができるかわからない時は、グリーンコープの理事さんたちに聞いてみてください。パートナーシップがあるからこそ私たちは健全なコミュニティを作ることができます。グリーンコープの皆さんと私たちがパートナーとしてつながっていることをありがたく思っています。

感謝の気持ちを込めて
 ゼン・ハニーカット
 マムズ・アクロス・アメリカ
 訳：大橋 成子

カタログGREEN47号(1月31日週配布)で
 ゼンさんの著書を企画します

申込番号 **あきらめない**
5370 UNSTOPPABLE

47号でご注文ください

12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



組合員の「産直びん牛乳」への愛から誕生した

めトリプル産直チキンドリア



めトリプル産直チキンドリア ができるまで

1



ブレンダーと並んだ
びん牛乳は庄巻！

180本のびん牛乳を使用して、
1日に2000個のドリアを生産。

2

びん牛乳を一本ずつ開栓して樽に注ぐ。



びんが割れた時を考慮し、一旦別の樽に注ぐ。更にびんを静置して底に溜まった牛乳も使い、無駄にしないという徹底ぶり。

最後の一滴まで大事に使ってもらっていることが分かり、感激しました！
連合会商品おすすめ委員長 金田さん

3

ホワイトソース作り



バター、小麦粉、びん牛乳、粉チーズなどの材料を入れ、とろみが出るまで約2時間煮込む。とろみ具合の見極めは「勘」。熟練の技です！

4

炊飯と計量



お米をバターと水で柔らかく炊き上げる。炊けたご飯を一つずつ手作業で計量し、充填機でホワイトソースをたっぷりかける。

5

トッピング



美味しく蒸された若鶏、チーズをのせ、こんがり焼いたパン粉とパセリを散らしてできあがり！



2019年9月に登場しためトリプル産直チキンドリアは、グリーンコープの30周年を記念して、グリーンコープ生協ふくおか北分身食べもの委員会が開発しました。グリーンコープの3つの産直商品を材料にして作ったグリーンコープだけのチキンドリアです。
グリーンコープ連合会商品おすすめ委員会は、2021年9月15日、めトリプル産直チキンドリアの学習会を行い、商品の特長やこだわりについて学びました。



その3 産直赤とんぼ米

■生産者とグリーンコープが毎年行う協議に基づいて化学成分農薬をできる限り減らし、農薬不使用または農薬を低減して栽培されています。



その2 産直若鶏

■飼料はすべてnon-GMO(遺伝子組み換えでない)。抗生物質などの薬剤はできる限り使っていません。
■日光が当たり風通しのよい開放型鶏舎で平飼い。ストレスの少ない環境で一般より長い60日齢以上飼育しているから旨みたっぷり。



その1 産直びん牛乳

■母牛の飼料はすべてnon-GMO(遺伝子組み換えでない)。主飼料のトウモロコシはPHF(収穫後の農薬不使用)。
■生乳の風味と栄養をできるだけ残す72°C15秒のパスチャライズ殺菌。
■牛乳の風味を生かす「びん」入り。

まさに、組合員が願った安心・安全で美味しい理想の牛乳です。

連合会商品おすすめ委員会 めトリプル産直チキンドリアのここがおすすめ!

大きめにカットされた産直若鶏ムネ肉は、食べごたえがあって美味!



火を使わずに電子レンジで温めるだけで食べられるから、子どもでも簡単に用意できます!



産直びん牛乳をふんだんに使っているから、ホワイトソースが濃厚でとってもクリーミー。



製造工程のほとんどが手作業。大きな鍋で家庭で作るのと同じように愛情たっぷりに作られています。



安心・安全。さらに簡単調理で美味しいドリアが食べられることに感謝! 本当におすすめです!



メーカーさんに聞きました!

素材の良いグリーンコープの商品を作れることが楽しい&嬉しい!

有限会社 小倉水産食品
代表取締役 小倉 雅司さん

めトリプル産直チキンドリアは、グリーンコープ生協ふくおかより、びん牛乳を使った商品開発の依頼があり、提案した商品です。すでにめクリーミーかにコロケなどの商品を作らせていただいております。採用いただいた経緯があります。

商品名には「トリプル産直」とありますが、食塩やパン粉、なたね油もグリーンコープの商品を使っています。私自身も組合員ですので、グリーンコープには本当に美味しい商品がたくさんあることを知っています。少しでも多くグリーンコープの商品を使って作れないか、組合員さんと一つずつ検討しました。組合員さんの要望に応じて製造するのは、時間や手間がかかることもありますが、作らせていただくからには美味しい商品を作りたいと思っています。

組合員さんと一緒に、グリーンコープ商品をふんだんに使って作っためトリプル産直チキンドリア。

「イチオシ!」です!



組合員のめ産直びん牛乳への愛と、その思いに応えてくださるメーカーとの出会い

グリーンコープ連合会 商品おすすめ委員会
委員長 金田 幸代さん

開発当時、ふくおか南分身の食べもの委員長としてめトリプル産直チキンドリアの初回製造に立ち会い、共に利用普及した金田委員長に登場までのお話を聞きました。

2018年、グリーンコープが30周年を迎えるにあたり、組合員はそれを記念する開発商品にはぜひ、自分たちが大事にしてきため産直びん牛乳を使いたい!と検討をスタートさせました。

め産直びん牛乳だけでなく、産直の鶏肉やお米、その他原料もできるだけグリーンコープの商品や国産の原料にこだわった結果、素材の味を生かした自慢の商品が誕生しました。このように一つの商品にたくさんのグリーンコープ商品を使うことができるのは、組合員の思いをしっかりと受け止めてくださるメーカーがあったからだと思えます。

商品のネーミングも、グリーンコープ商品を使った贅沢なドリアにぴったりなものにしたいと考え、思い入れのある3つの産直を表現。パッケージは、産直びん牛乳が受賞した「*優秀味覚賞」のイメージカラーで高級感がある濃いブルーを基調に考えました。

中身にもパッケージにも組合員の思いを込めました。自信を持っておすすめできる開発商品です。

※International Taste Institute (国際味覚審査機構) が世界中の食品・飲料品の味を審査し、優れた製品を表彰することを目的に設けた賞

2021年11月の組合員数

435589人 (11/20現在)

リユース、リサイクルデータ 2021年10月分(回収率)		
牛乳びん 回収率 98.8%	リユースびん 回収率 59.0%	モールドバック 回収率 96.0%
トレー 回収率 41.4%	仕分け袋 回収率 14.4%	カタログ 回収率 63.9%

フードマイレージ
2021年11月に組合員の利用によってたまったのは
6,443,857.5 CO2eに換算して644トン削減したことになります
2009年9月からの累計は、912,607,527.9ポコ

アジア民衆基金
2021年11月に組合員の利用によってたまったのは
665,890円
2009年4月からの累計は、86,401,257円

共生の時代

別紙

放射能汚染と向きあう (放射能測定室より)

●発行 一般社団法人グリーンコープ共同団体理事会 ●編集 共生の時代・編集部 〒812-8561 福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号 ●電話 (092) 481-7923 ●FAX (092) 481-7876 ●ホームページ: https://www.greencoop.or.jp/

東京電力の原子力発電所の事故を受けて行った残留放射能検査結果 ⑫

2021年10月18日から2021年11月25日に267品目の検査をしました。「25308食塩無添加カシューナッツ」「25213国内産お徳用小さい乾しいたけ(原木)(乾物)」

「25461大分県産徳得原木乾しいたけ(乾物)・大分県産中玉どんこ(含め煮用)(乾物)・大分県産規格外原木乾しいたけ小粒どんこ(乾物)・大分県産原木乾しいたけ小粒どんこ(乾物)」からグリーンコープのアクション基準(10ベクレル/kg)以下の残留放射能が検出されました。

厚生労働省の「食品中の放射性物質に係る基準値の設定」では、「食用に供する状態(お茶は抽出液、乾物は水戻し)で行う」となっていることから、グリーンコープでは水戻しの検査結果を基準としています。「25213国内産お徳用小さい乾しいたけ(原木)(乾物)」は水戻しでも検査をし、検出されませんでした。

「25461大分県産徳得原木乾しいたけ(乾物)・大分県産中玉どんこ(含め煮用)(乾物)・大分県産規格外原木乾しいたけ小粒どんこ(乾物)・大分県産原木乾しいたけ小粒どんこ(乾物)」は水戻しでも検査をし、グリーンコープのアクション基準(10ベクレル/kg)以下の残留放射能が検出されました。食用に供する状態で10ベクレルを超えた場合には、供給の是非を一般社団法人グリーンコープ共同団体理事会で検討することになっています。

Table with 13 columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, 検査結果 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137). It lists 267 items with their respective radiation test results.

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137. Rows include various food products like fish, tea, and soybeans with their respective radionuclide test results.

※下記一覧表の結果の「検出せず」は、検出限界値を超えての検出はなかったことを表しています。

Table with columns: 番号, 商品分類, 商品名, 原料産地, 製造地, 製造日・収穫日等, 測定日, 検査法, 検査結果 (ヨウ素-131, セシウム-134, セシウム-137).

検査結果については、ホームページでも週に一度のペースでお知らせします。表記についてもホームページと同様にしています。

●放射性セシウムの基準値について

2012年4月からの国の基準は、一般食品100ベクレル/kg、乳児用食品・牛乳50ベクレル/kg、飲料水10ベクレル/kg以下です。

グリーンコープは取り扱うすべての商品や原料について10ベクレル/kgを自主基準とし、10ベクレル/kg以上の数値が出た場合、一般社団法人グリーンコープ共同理事会に報告し、取り扱いについて検討・決定することになっています。

●グリーンコープでの放射能検査内容と報告について

検査対象 エリア グリーンコープでは、商品や原料について放射能汚染が心配される地域は関東から東北地方が中心であるものの、必ずしもエリアを限定して考えるべきではないという判断で、また利用される組合員の心配に対応するためにも検査対象を全国に広げています。また外国産の食品も検査対象にしています。

検査対象 2011年3月11日以降に、生産・製造・保管されていた商品及び原料を順次検査しています。定期的なサイクルで検査を行えるよう年間計画を立てて検査します。

検査機関 2011年10月よりグリーンコープ放射能測定室(福岡市)で検査をしています。

測定日 検体を測定した日を記入しています。

検査結果の表記 ヨウ素131とセシウム134、セシウム137の3種類について結果をお知らせします。検出限界値未満の結果については「検出せず」と表記します。「検出限界値」とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。放射能の特性として、同じ機器で測定しても検体ごとに検出限界値は変動します。 ※検出限界値未満とは、放射能は0ではなく、放射能は存在する可能性があるということです。 厚生労働省から2011年9月29日付で、検出限界値未満の結果については、測定によって得られた検出限界値を表示するよう通知が出されており、国や自治体から公表される検査結果には、検出限界値が表示されるようになりました。